



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)静岡制御 新工場	BEE	0.6	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度							
重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価	凡例	よい	ふつう	がんばろう
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつう		4 点以上	3 点以上	3 点未満
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.2 /5		がんばろう				
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.9 /5		がんばろう				
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.5 /5		がんばろう				
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)				評価	よい	ふつう	がんばろう
					4 点以上	3 点以上	3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要			内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)			得点		3.0	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④内外装材共に、耐用年数20年以上のものを採用	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔			
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) BPIm=0.67 BEIm=0.82	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制			
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪大綿木洗浄水量: 4.8L ⑬外壁・天井廻りに断熱材(グラスウール24K t=50,または100)敷設	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.1.3 2.1.4 2.1.5 2.1.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒			
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善				
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)			得点		2.2	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)			得点		2.9	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱階高: 3.990以上 ⑲壁長さ比率: 0.238以下	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ			
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)			得点		1.5	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2	㉒ 生物環境の保全と創出 ㉓ まちなみ景観への配慮 ㉔ 敷地内温熱環境の向上			
	■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2	㉕ 温熱環境悪化の改善			

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)静岡制御 新工場	階数	地上2F
建設地	静岡県静岡市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,673時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年4月16日
敷地面積	4,960 m ²	作成者	城内 栄作
建築面積	2,591 m ²	確認日	
延床面積	3,222 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 87%

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 2

LR1 エネルギー: 2.7

LR2 資源・マテリアル: 2.7

LR3 敷地外環境: 2.7

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建築基準法他諸法令を遵守し、かつできる限り省エネルギー性の高いものを選定することにより環境に配慮する計画としました。 特に、建物外皮の熱負荷抑制の面で高い省エネルギー性が望める計画としています。		特になし。
Q1 室内環境 建築基準法他諸法令を満たす室内環境を維持するよう計画しています。特に、熱貫流率の低い (0.64W/m ² ・K) 外壁材を採用することで、外皮性能を高めています。	Q2 サービス性能 高耐久 (20年以上) な内外装材の使用や、ゆとりのある階高の設定により、サービス性能を高めています。	Q3 室外環境 (敷地内) 町並みへの圧迫感や威圧感を緩和できるよう、建物の一部をセットバックさせたり緑化させたりすることで、穏やかに景観に馴染むよう努めています。
LR1 エネルギー 外壁・天井廻りに断熱材 (グラスウール24k(t=50又は100)) を敷設し、消費エネルギーの低減に努める計画としました。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器を積極的に採用しています。	LR3 敷地外環境 諸法令を遵守する最低限の取り組みを行っています。また、十分な駐車スペースを設けており、利用者が利用しやすいよう配慮しております。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される